

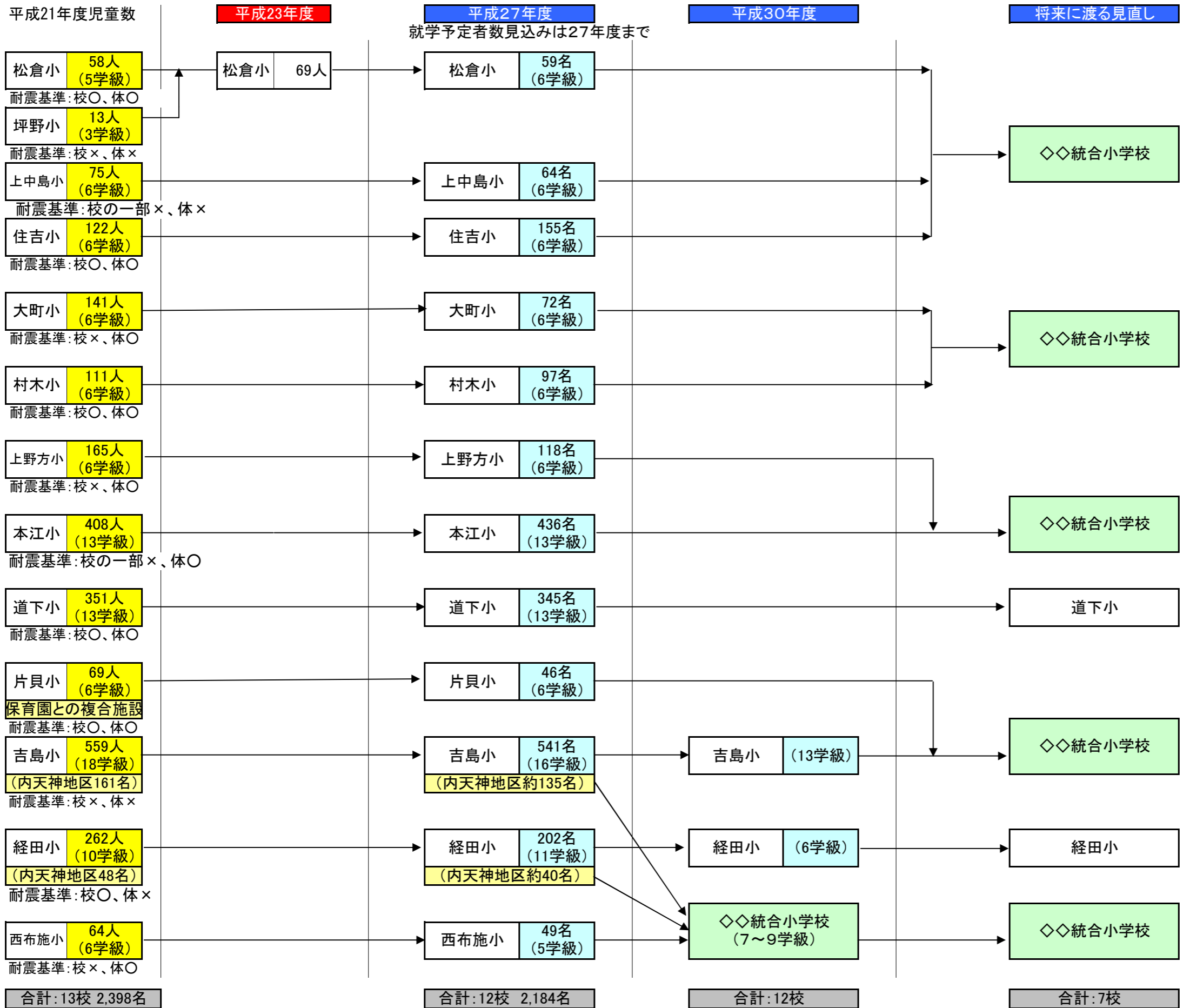
## これまでの経過

- (1) **魚津市学校教育審議会の設置（平成17年6月29日）**  
「小中学校規模の適正化と適正配置並びに通学区域の合理化について」諮問
- (2) **魚津市学校教育審議会の答申（平成18年12月1日）**
  - ① 小学校は少なくとも1学年2学級程度、中学校では1学年各4学級程度とする。
  - ② 複式学級解消のため松倉小学校と坪野小学校を統合する。
  - ③ 道路状況の変化に対応するため市内全域で通学区域の見直しを行う。
  - ④ 次の学校で統合を実施する。
    - ・松倉小、坪野小、上中島小、住吉小（一部）→新設校
    - ・大町小、村木小、住吉小（一部）→新設校
    - ・西布施小、吉島地区（一部）、天神地区（一部）、経田地区（一部）→新設校
- (3) **地区説明会の実施（平成19年6月から7月）**  
市内13地区で説明会を開催したが、地区を分断することに対して強い反対があった。
- (4) **魚津市小中学校の規模の適正化に関する素案（平成20年3月）**  
地区説明会での意見や各单位PTAの保護者の意見を尊重し、地区を分断しないという考え方を基本に、適正化の枠組みを見直し計画年度を記載した。
- (5) **地区説明会の実施（平成20年6月から7月）**  
再度、市内13地区で説明会を開催し、地区は分断しないことなどを説明したが、地区によって温度差が大きく、統廃合の対象となる地区では、学校が無くなると地域の空洞化を招くなどの反対意見が多かった。
- (6) **各地区検討委員会から意見書の提出（平成20年9月から平成21年3月）**  
素案に対する地区の意見を集約するため、検討委員会を組織し意見を文書で市教委に提出
- (7) **『魚津市小中学校の規模適正化基本計画』（平成21年9月）**  
素案に対する各地区からの意見を参考に「魚津市小中学校の規模適正化基本計画」を策定し、今後の児童・生徒数の推移を見ながら5年ごとに見直すこととした。  
**小学校の適正配置計画（別紙）**
  - ① 平成23年4月に松倉小学校と坪野小学校を統合し松倉小学校とする。
  - ② 平成30年度までに天神地区と西布施地区による統合校を設置する。
  - ③ 児童数を見ながら将来的に統合を進める。（年度は明記していない）
    - ・住吉小学校、上中島小学校、松倉小学校（坪野小との統合後）の統合
    - ・大町小と村木小
    - ・片貝小と吉島小
    - ・上野方小と本江小

## (8) 最近の動向

- ① 松倉小学校と坪野小学校の統合は1年延期となったが、平成24年4月に統合した。
- ② 市議会やPTA、市長のタウンミーティング等において、今後の学校統廃合に関して早期に、或いは更に大きな枠組みで進めるべきとの意見が出ている。

魚津市小中学校の規模適正化基本計画 適正規模化のイメージ図（平成21年9月）



学校規模適正化の基本方針

- ① 複式学級編制となっている小学校については、原則、学校の統合について検討する。
- ② 小規模校において児童数が減少し、複式学級編制が続く場合は、学校の統合について検討する。
- ③ 小規模校において地区の合意が得られる場合は複式学級編制にならなくても規模適正化の検討を行う。
- ④ 学校の規模の適正化は原則として隣接する地区との統廃合により進める。
- ⑤ 学校の規模の適正化にあたり、長期的に適正な学校規模を確保するとともに、全市的なバランスを考慮する。
- ⑥ 学校の規模の適正化にあたり地理的・歴史的な繋がりを考慮するものとする。
- ⑦ 特認校制度については導入しないこととする。

平成21年9月作成  
の統廃合計画